



# BMR56A1D07A

カーナビゲーションシステム 取付キット取付説明書  
カーステレオシステム

## BMW MINI (R56)

本取付キットをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

取り付けの前に、この取付説明書をよくお読みの上、正しく作業を行ってください。取り付け全般に際し、取り付けるシステム本体に付属の取付説明書も必ずご覧下さい。正しい接続で使用しなかったり、お客様の改造により発生した故障や事故については、当社として一切責任を負いかねます。

※車両の仕様や装備によっては、本取付キットが適用できない場合があります。取り付けの前に車両の仕様や装備をよくご確認の上、作業を始めてください。

※取り付ける製品と車両の組み合わせによっては取り付けできない場合があります。

※純正CDチェンジャー、純正携帯電話ハンズフリー、マルチファンクションコントロール、マルチファンクションディスプレイのオーディオ項目は機能しなくなります。(装着車のみ)

※純正オーディオに付随する機能は、ご利用できなくなる場合があります。

### 適用グレード

ABA-M\*\*\*

2007/02 ~ 現行

ディーラー車

※harman/kardon製 HiFiシステムは未確認です。

※助手席側の小物入れは使用できなくなります。

(オプション装備のCDオートチェンジャーは使用できなくなります。)

※PDC(パークディスタンスコントロール)が使用できなくなります。(装着車のみ)

※AUX入力端子が使用できなくなります。

※本製品はコンソールパネル及びオーディオフレームの切り取り加工が必要となります。

### 取付キット構成部品

●1DINフェイスパネル	x 1	●クッションテープ	x 1
●1DINブラケットL/Rセット (スピーカーレジスター x 4 付)	x 1	●スポンジテープ(1000mm)	x 1
●フェイスロックプレート	x 2	●ボルト(M6 x 15)/ナット	x 1
●電源・スピーカーハーネス	x 1	●ボルト(M5 x 15)/ナット	x 2
●ラジオアンテナ変換コード (FAKRA⇒JASOタイプ)	x 1	●ボルト(M4 x 6)	x 2
●純正オーディオ延長ハーネス	x 1	●タッピングビス	x 2
●純正オーディオ固定ブラケット	x 1	●スピードナット	x 2
●純正オーディオ延長フラットケーブル (~2008年モデル用 x 1 / 2009年モデル用 x 1)	x 2	●勘合用面ファスナー	x 2
●スチールスペーサー	x 2	●リバースレンジゴング用スピーカー	x 1
●フェルトテープ	x 2	●コンソールパネル加工用型紙シール	x 1
●フラットケーブル固定用クランプ	x 2	●ショートコネクター(赤)	x 2
		●ナイロンバンド(150mm)	x 2

### 適用サイズ

※ノーズサイズは W175mm x H47mm まで対応ですが、ノーズ開閉タイプの場合、ノーズ開閉時にパネルと干渉する場合があります。  
※本キットはトレードイン専用です。アドオン取付は出来ません。

1DINサイズ

※本取付説明書の記載の内容は、調査時のデータに基づいて作成されています。

調査後に車両変更、車種追加などで取付情報が変更になる場合がありますのでご注意ください。

※本取付説明書に記載の内容および仕様は、改良のため予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

※本取付説明書の一部または全部を無断で転用・転載することを禁じます。

※FOR SALE IN JAPAN ONLY

株式会社ピービー ©

〒731-0103 広島県広島市安佐南区緑井3-4-29

商品お問い合わせ先：大阪受注センター

〒561-0841 大阪府豊中市名神口3-7-3

2009/12/01

tel.06-6335-0805

fax.06-6335-0807

- 1 -

http://www.pb-jp.com

support@pb-jp.com

BMR56A1D07A

# 安全に正しくお使いいただくために

この取付説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。



## 警告

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



## 注意

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



## 警告

- 本品はDC 12V $\ominus$ アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車での使用はしない。火災の原因となります。
- 本品を、前方の視界を妨げる場所や、ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所などには絶対に取り付けしない。交通事故や怪我の原因となります。
- 車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することが無いよう注意して行う。火災の原因となります。
- 車体のボルトやナットを使用して、機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しない。これらを使用しますと、制動不能や、発火、事故の原因となります。
- 取り付け作業前には、必ずバッテリーのマイナス $\ominus$ 端子をはずす。プラス $\oplus$ とマイナス $\ominus$ 経路のショートによる感電や怪我の原因となります。
- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープなどでまとめておく。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくこと事故の原因となり危険です。
- 機器を分解したり、改造しない。事故、火災、感電の原因となります。
- 電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取るとは絶対に止める。電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。
- 音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。事故、火災、感電の原因となります。
- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用する。規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。
- 万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な臭いがするなどの異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談する。そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に機器の取り付けと配線をしていない。エアバッグ動作を妨げる場所に取付・配線すると交通事故の際、エアバッグシステムが正常に動作しないため、事故の原因となります。
- 視界や運転の妨げとなる場所へは取り付けしないでください。交通事故の原因となります。
- ドリル等で穴あけ作業をする場合は、ゴーグル等の目を保護するものを使用する。破片などが目に入ったりして怪我や失明の原因となります。
- 接続したコードや使用しないコードの先端など、被覆がない部分は絶縁性テープ等で絶縁する。ショートにより火災、感電の原因となります。



## 注意

- 本品の取付・配線には、専門技術と経験が必要です。安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。誤った配線をした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。
- 必ず付属の部品を指定通り使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を損傷したりしっかりと固定できず外れることがあり危険です。
- 雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気、埃、油煙の多い場所への取り付けは避けてください。機器に水や湿気、埃、油煙が混入しますと、発煙や発火、故障の原因となることがあります。
- しっかりと固定できないところや振動の多いところなどへの取り付けは避けてください。外れて運転の妨げとなり交通事故や怪我の原因となることがあります。
- 直射日光やヒーターの熱風が直接当たるところなどへ取り付けしないでください。機器の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。
- 機器の通風孔や放熱板、ファンをふさがらないでください。通風孔や放熱板、ファンをふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- 取付説明書で指定されたとおりに接続してください。正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。
- エアバッグ装着車に取り付ける場合は車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグが誤動作する原因となることがあります。
- 車体のねじ部分、シートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。
- コードが金属部に触れないように配線してください。金属部に接触しコードが破損して火災、感電の原因となることがあります。
- コード類の配線は、高温部を避けて行ってください。コード類が車体の高温部に接触すると被覆が解けてショートし、火災、感電の原因となることがあります。
- 機器の取り付け場所変更時は安全のため必ずお買い上げの販売店へ依頼してください。取り外し、取り付けには専門技術が必要です。
- 本品を車載用として以外は使用しないでください。感電や怪我の原因となることがあります。

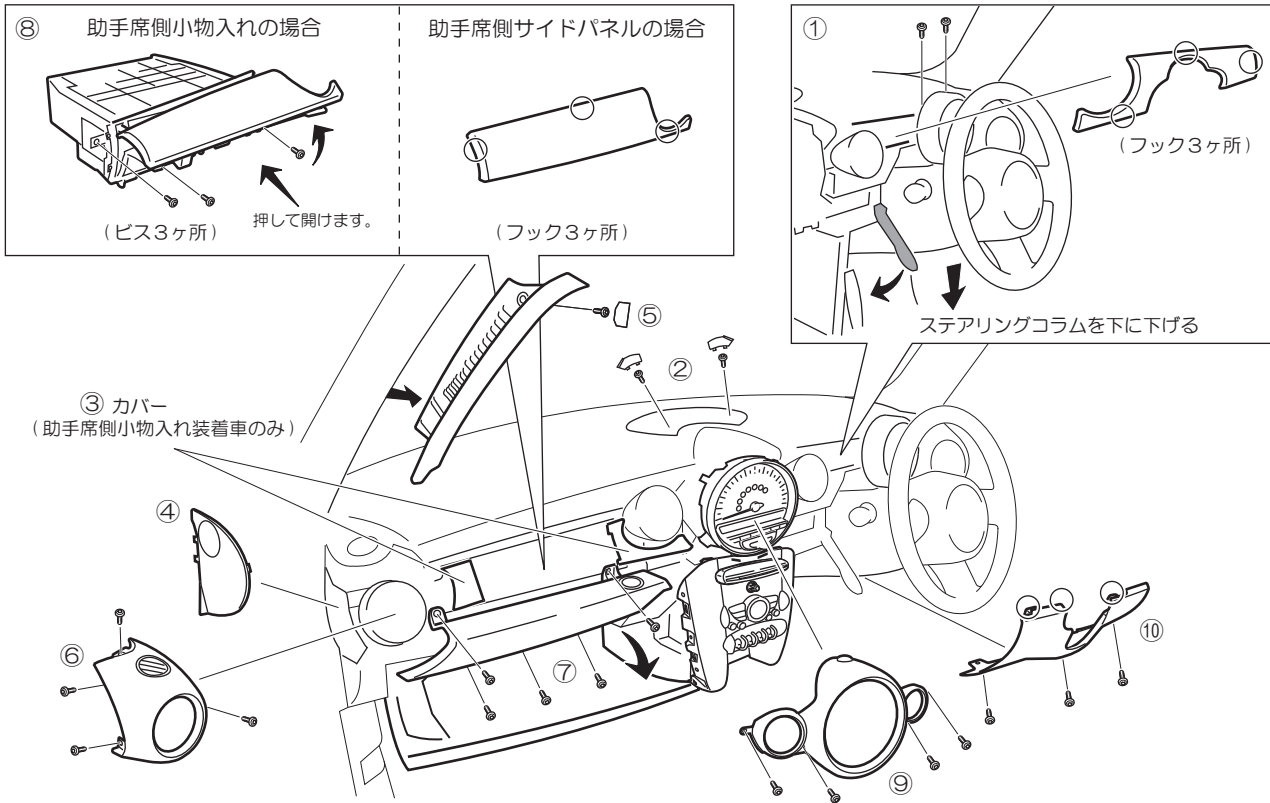
# 純正システムの取り外し



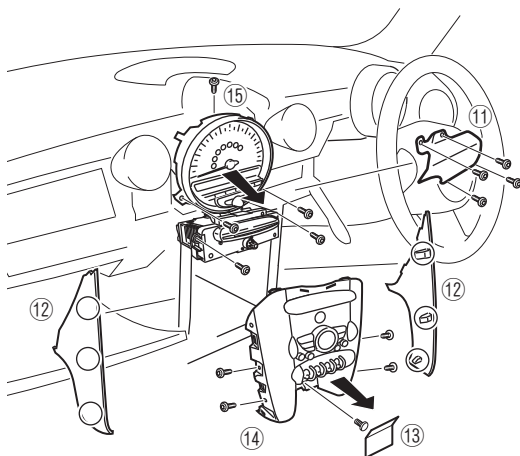
**注意**

取り外し、取り付けの際には車両部品や取り付ける機器に傷を付けないよう、予め保護テープを貼るなど十分注意して作業を行ってください。

## 純正システムの取外し



- ① ステアリングコラム調節レバーを下げ、ステアリングを下側の位置にします。  
タコメーターのビス2本を緩め、手前に動かし、運転席側サイドパネルを取り外します。
- ② ダッシュボードセンターグリル内の左右ビスカバーを取り外し、ビス2本を緩めます。
- ③ 助手席側小物入れのフタを押して開け、助手席側小物入れ左右のカバーを取り外します。  
(助手席側サイドパネル装着車の場合は助手席側サイドパネルを取り外します。)
- ④ 助手席側ダッシュボードサイドのカバーを取り外します。
- ⑤ ビスカバーを取り外し、ビス1本を緩めて左側Aピラーを取り外します。
- ⑥ ビス4本を緩め、助手席側ダッシュボードサイドのエアコンノズルを取り外します。
- ⑦ ビス5本を緩め、助手席側二ーパッドを取り外します。
- ⑧ ビス3本を緩め、助手席側小物入れを取り外します。(装着車のみ)
- ⑨ ビス4本を緩め、ハザードスイッチコネクターを外して、メーターカバーを取り外します。
- ⑩ ビス3本を緩め、ステアリングアンダーカバーを取り外します。(フック ○ 印3ヶ所)



- ⑪ ビス4本を緩め、運転席側二ーパッドを取り外します。
- ⑫ コンソールパネル左右のカバーを取り外します。  
(フック 左右 ○ 印3ヶ所)
- ⑬ コンソールカバー下部のカバーを取り外します。
- ⑭ ビス4本、ボルト1本を緩め、コンソールパネルを取り外します。
- ⑮ ビス5本を緩め、メーター一体型純正 CD プレーヤーを取り外します。

取り付けは取り外しの逆の手順で行ってください。

# メインユニット取り付け準備

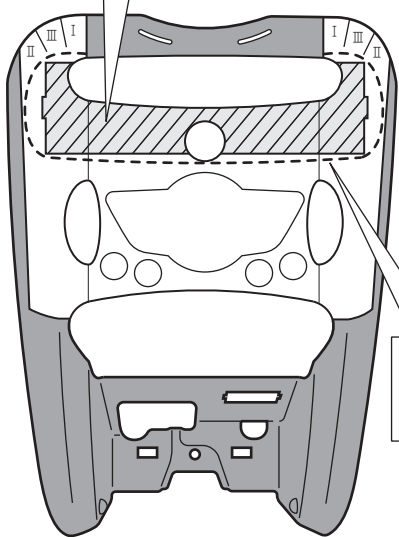


**注意**

取り外し、取り付けの際には車両部品や取り付ける機器に傷を付けないよう、予め保護テープを貼るなど十分注意して作業を行ってください。

## コンソールパネルの切り取り加工

※この線に沿って内側（網掛け部）を切り取り加工します。型紙シールをコンソールパネルに貼り付けた後、ミシン目から網掛け部を剥がし、残った型紙シールの端面までコンソールパネルを切り取ります。



この線（点線）を越えて切り取り加工すると、1D1Nフェイスパネルで隠れなくなるのでご注意ください。

※印刷ラインは目安です。加工は必ずシールの端面に合わせて行ってください。

① 台紙から型紙シールを剥がし、左図を参考にコンソールパネルの指定位置に貼り付けます。

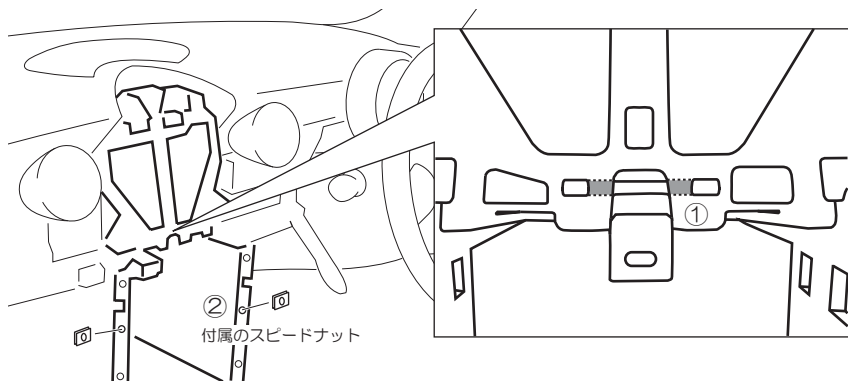
※ 型紙シールの ▶ ラインをパネル面の縁に、型紙シールの目安線をパネル開口部に合わせて貼ってください。カーブ部分は、I → II → IIIの順に網掛け部を隠す様に貼り付けてください。

② ラインに沿って内側（網掛け部）を切り取り加工します。

※ 印刷ラインは目安です。加工は必ずシールの端面に合わせて行ってください。

※ 金ノコ歯等で切り取り、ヤスリ等で仕上げ加工します。

## オーディオフレームの加工



付属のスピードナット

① 付属のフラットケーブルを通すため、■部分を切り取り加工します。

※ニッパー、金ノコ歯等で切り取り、バリが残らない様にヤスリ等で仕上げます。

② 左図を参考に、付属のスピードナットを差し込みます。

# 純正システムの移設 その1



**注意**

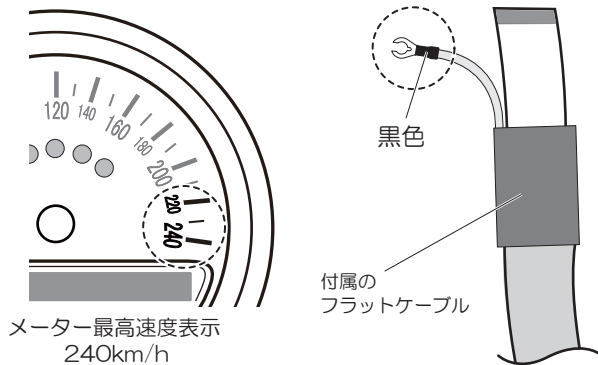
取り外し、取り付けの際には車両部品や取り付ける機器に傷を付けないよう、予め保護テープを貼るなど十分注意して作業を行ってください。  
取り外し、取り付けの際にはフラットケーブルやフラットケーブルコネクタのロック部が、傷ついたり、破損しない様に注意して作業を行ってください。

## 付属のフラットケーブルの確認

※ 本製品に付属のフラットケーブルが2種類ありますので、下記にしたがって作業してください。

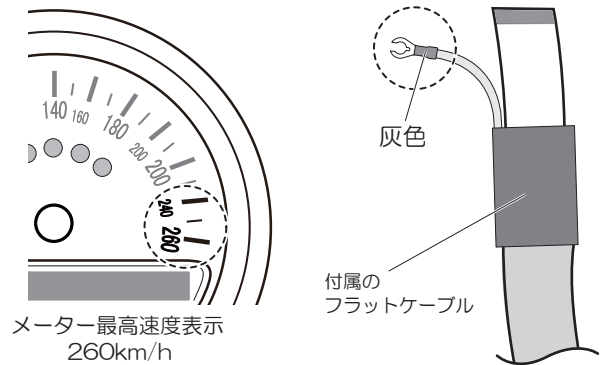
【～2008年モデル】

メーター最高速度表示が **240km/h** の場合、付属のフラットケーブルのアースクワ端子部分の収縮チューブが **黒色** を使用してください。



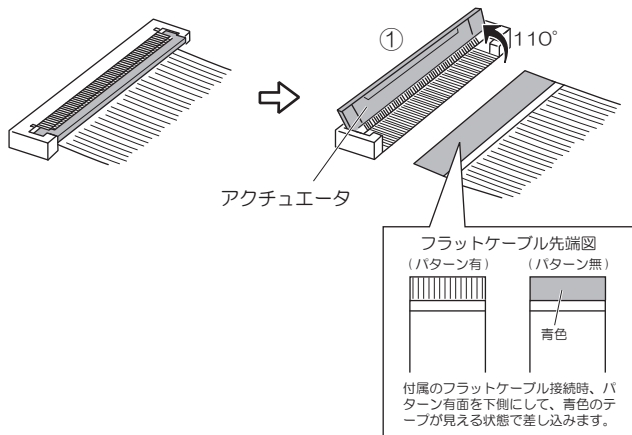
【2009年モデル～】

メーター最高速度表示が **260km/h** の場合、付属のフラットケーブルのアースクワ端子部分の収縮チューブが **灰色** を使用してください。



## フラットケーブルの差し替え

【～2008年モデル】



① アクチュエータを上方向に押し上げ、フラットケーブルを取り外します。(上図参照)

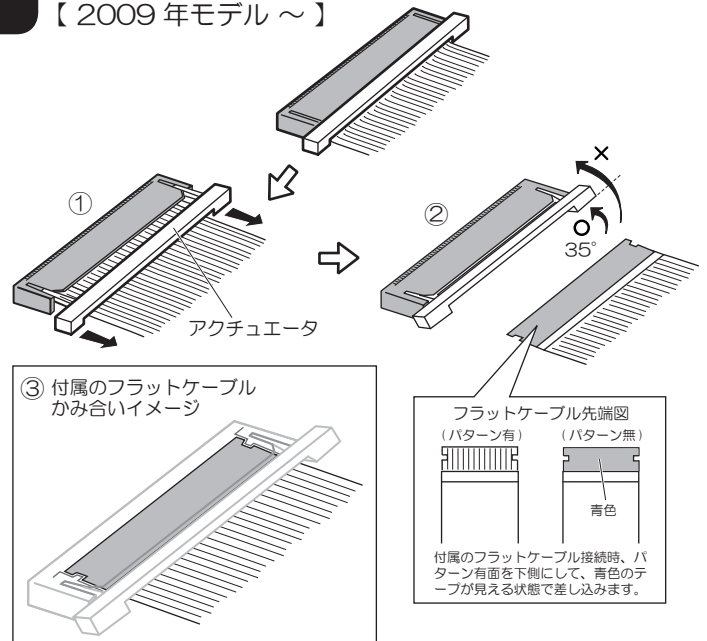
※ アクチュエータの解除は、ドライバー等の先端の薄い工具を使用しての解除は行なわないでください。端子を変形させる原因となります。

※ アクチュエータは約 110° 以上開かない構造となっていますので、それ以上無理な力を加えないでください。破損の原因となります。

② アクチュエータのロック操作は、フラットケーブルのパターン有面を下側にし、差し込んでアクチュエータを固定します。

※ フラットケーブルコネクタに対して斜めになったり、ガイドに乗り上げる状態でアクチュエータを固定しないでください。

【2009年モデル～】



① アクチュエータを矢印の方向に引きます。(上図参照)

② ①で矢印方向に引いたアクチュエータを上方向に押し上げ、フラットケーブルを取り外します。(上図参照)

※ アクチュエータの解除は、ドライバー等の先端の薄い工具を使用しての解除は行なわないでください。端子を変形させる原因となります。

※ アクチュエータは約 35° 以上開かない構造となっていますので、それ以上無理な力を加えないでください。破損の原因となります。

③ アクチュエータのロック操作は、フラットケーブルのパターン有面を下側にし、差し込んで位置決め部に保持されていることを確認し、アクチュエータを固定します。

※ フラットケーブルコネクタに対して斜めになったり、ガイドに乗り上げる状態でアクチュエータを固定しないでください。

## 純正システムの移設 その2



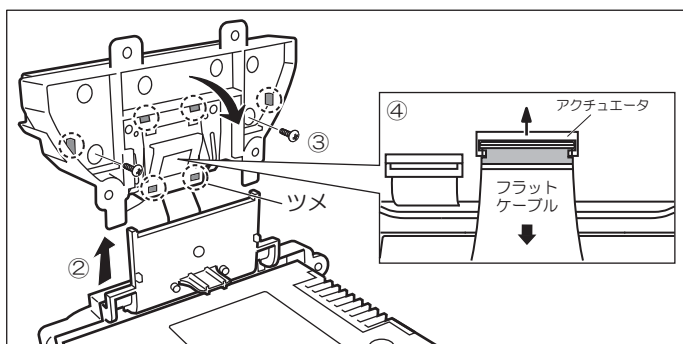
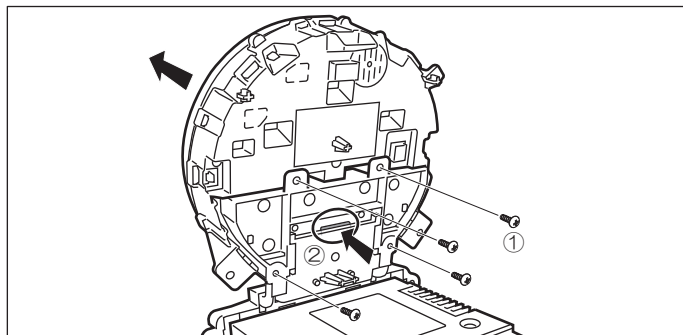
注意

取り外し、取り付けの際には車両部品や取り付ける機器に傷を付けないよう、予め保護テープを貼るなど十分注意して作業を行ってください。

注意

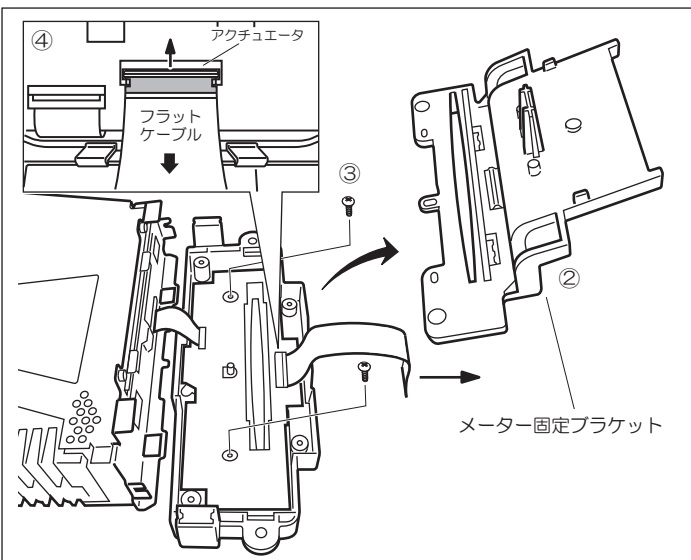
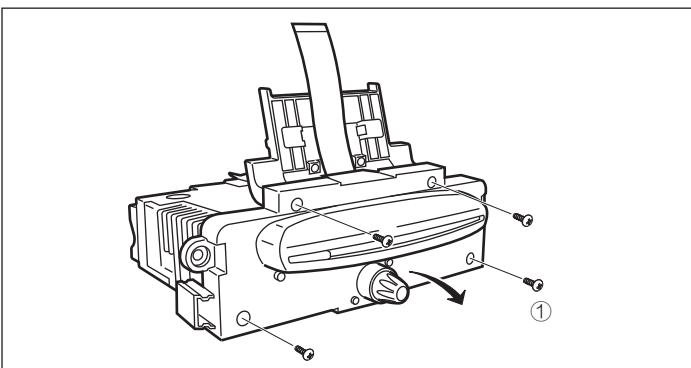
取り外し、取り付けの際にはフラットケーブルやフラットケーブルコネクタのロック部が、傷ついたり、破損しない様に注意して作業を行ってください。

### メーターとCDプレーヤーの取外し



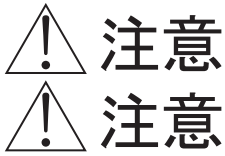
- ① ビス4本を緩め、メーターパネルを取り外します。
  - ② ○部分を押しながら上に引き上げロックを解除し、オーディオ操作部を上を持ち上げ取り外します。
  - ③ ビス2本を緩め、ツメ6ヶ所のロックを解除し、オーディオ操作部の裏側カバーを取り外します。
  - ④ フラットケーブルコネクタのアクチュエータを解除し、既設のフラットケーブルを取り外します。
- ※左図は、～2008年モデル以前のコネクタです。フラットケーブルの接続はP5“フラットケーブルの差し替え”を参照してください。
- ⑤ ①で取り外したメーターパネルを取り付けます。

### 既設フラットケーブルの取外し



- ① ビス4本を緩め、純正CDプレーヤーのカバーを開けます。
  - ② ビス2本を緩め、メーター固定ブラケットを取り外します。
  - ③ ②で取り外したビスを使用し、基板を固定します。
- ※メーター固定ブラケットは、使用しません。
- ④ アクチュエータを解除し、既設のフラットケーブルを取り外します。
- ※左図は、～2008年モデル以前のコネクタです。フラットケーブルの接続はP5“フラットケーブルの差し替え”を参照してください。

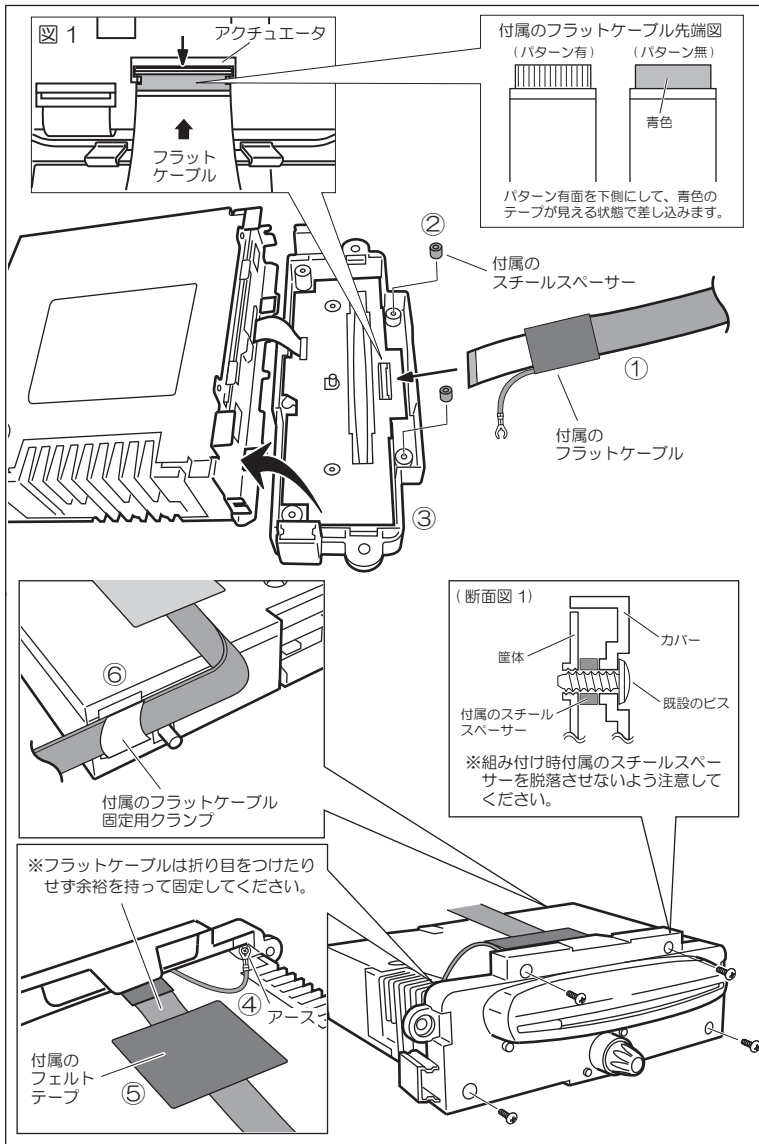
# 純正システムの移設 その3



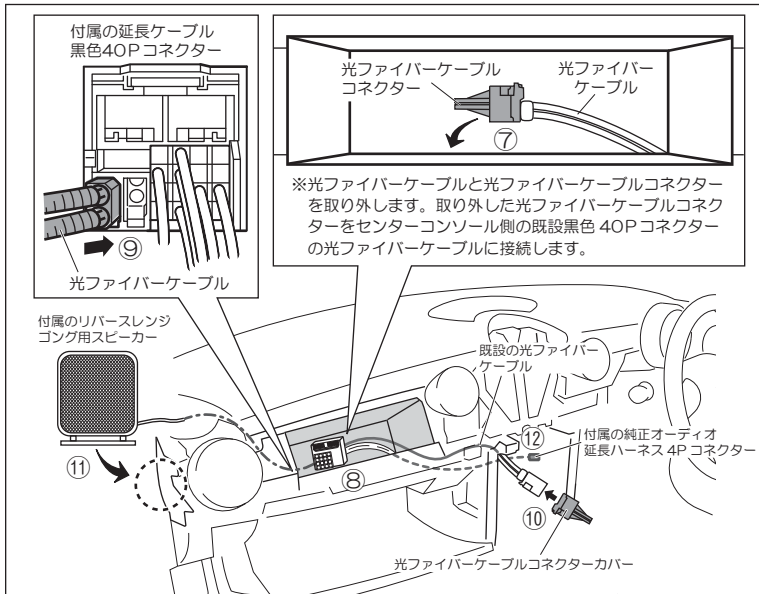
取り外し、取り付けの際には車両部品や取り付ける機器に傷を付けないよう、予め保護テープを貼るなど十分注意して作業を行ってください。

取り外し、取り付けの際にはフラットケーブルやフラットケーブルコネクターのロック部が、傷ついたり、破損しない様に注意して作業を行ってください。

## 付属のフラットケーブルの取付



- ① 前項でフラットケーブルを取り外したコネクタに、付属のフラットケーブルを差し込み、アクチュエータを下に押し込みフラットケーブルを固定します。
- ※ 図 1 は 2008 年モデル以前のコンネクターです。フラットケーブルの接続は P5 “フラットケーブルの差し替え” を参照してください。
- ② 既設のビス 4 本の内 2 本を使用し、純正 CD プレーヤーのカバー上部部分と付属の鋼スチールスペーサーを一緒に組み付けます。(断面図 1 参照)
- ※ 組み付け時付属の鋼スチールスペーサーを脱落させないように注意してください。
- ③ ②の既設のビス残り 2 本を使用して、純正 CD プレーヤーの下部部分を組み付けます。
- ④ 付属のフラットケーブルからのアースコードを純正 CD プレーヤーの上部右側のビスに共締めします。
- ⑤ 純正 CD プレーヤーに取り付けた付属のフラットケーブルを付属のフェルトテープで固定します。
- ※ フラットケーブルは折り目をつけたりせず、余裕をもって固定してください。
- ⑥ 付属のフラットケーブル固定用クランプを純正 CD プレーヤーの左後部に貼り付けフラットケーブルを取り付けます。



- ⑦ サイドポケット奥の光ファイバケーブルコネクタ一体をフレームから取り外し、ロックを解除してカバーを取り外します。
- ⑧ 付属の純正オーディオ延長ハーネスをサイドポケットからセンターコンソール側に取り回します。
- ⑨ 付属の純正オーディオ延長ハーネス黒色 40P コネクタに⑦でコネクタを取り外した光ファイバケーブルを接続します。
- ⑩ センターコンソール側の既設黒色 40P コネクタに接続されている光ファイバケーブルを取り外し、⑦で取り外したカバーを取り付けます。
- ⑪ 付属のリバースレンジゴング用スピーカーを助手席側のエアコンノズル裏側に固定し、スピーカーコードをサイドポケット内の純正オーディオ延長ハーネスのスピーカーコードと接続します。
- ⑫ 付属の純正オーディオ延長ハーネス 4P コネクタを付属の電源・スピーカーハーネスに接続します。

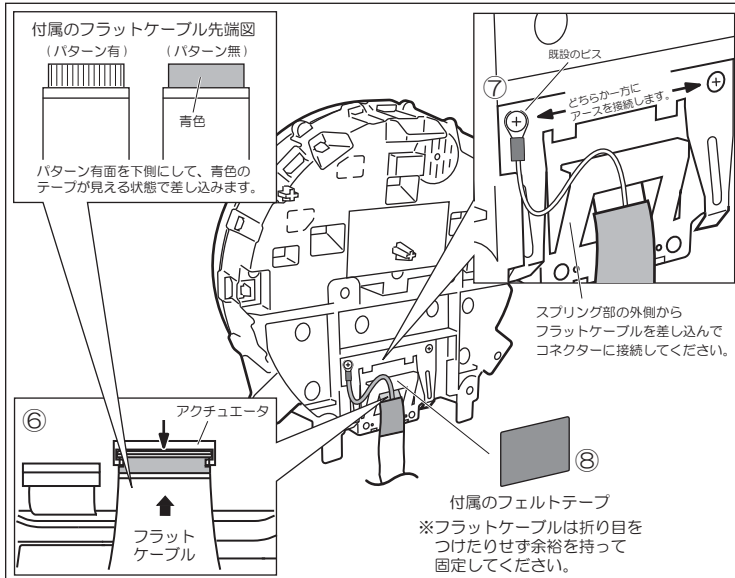
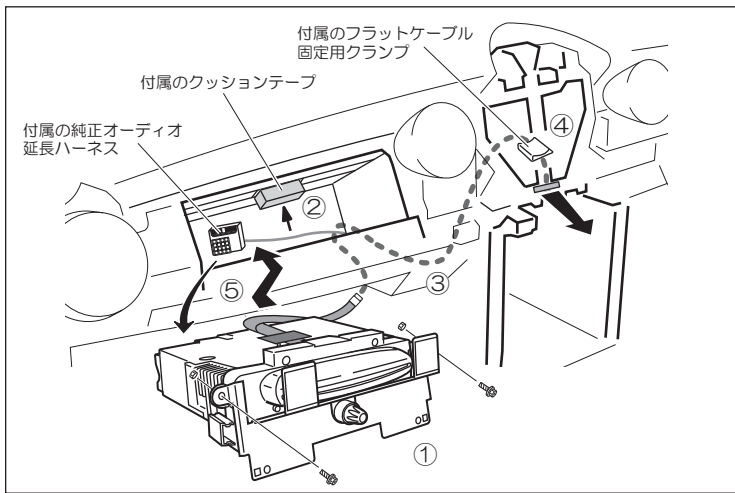
# 純正システムの移設 その4



取り外し、取り付けの際には車両部品や取り付ける機器に傷を付けないよう、予め保護テープを貼るなど十分注意して作業を行ってください。

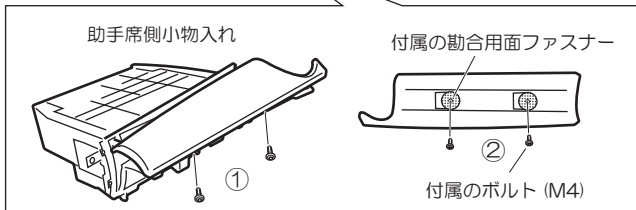
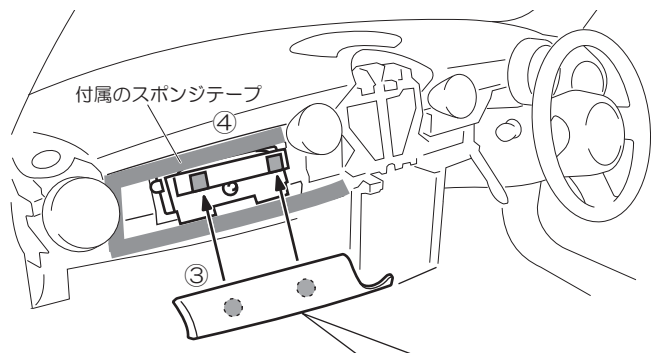
取り外し、取り付けの際にはフラットケーブルやフラットケーブルコネクタのロック部が、傷ついたり、破損しない様に注意して作業を行ってください。

## 付属のフラットケーブルの取回し



- ① 純正 CD プレーヤーに付属のボルト / ナット (M5) を使用し、純正オーディオ固定ブラケットを取り付けます。
- ② サイドポケット奥上部のステー中央部にクッションテープを貼り付けます。(貼り付け面の汚れや油分等を良く拭き取ってから保護紙を剥がして貼り付けます。)
- ③ 前項で純正 CD プレーヤーに取り付けた付属のフラットケーブルをサイドポケット右奥からメーターパネル裏まで引き回します。
- ④ 付属のフラットケーブル固定用クランプをオーディオフレーム (メーターパネル取り付け部) 裏に貼り付けます。引き回した付属のフラットケーブルを付属のフラットケーブル固定用クランプに通し、オーディオフレームの加工した穴に通します。
- ⑤ サイドポケット内の純正オーディオ延長ハーネス黒色 40P コネクターを純正 CD プレーヤーに接続します。純正 CD プレーヤーをサイドポケットに挿入し、既設のビスで固定します。
- ⑥ オーディオフレームに通した付属のフラットケーブルをメーター下オーディオ操作部裏カバースプリング部の開口部から内側に通します。ディスプレイ部のフラットケーブルコネクタに付属のフラットケーブルを差し込み、アクチュエータを下に押し込み固定してからメーター下オーディオ操作部の裏側カバーを取り付けます。  
※ 左図は、～2008年モデル以前のコネクターです。フラットケーブルの接続は P5 “フラットケーブルの差し替え” を参照してください。
- ⑦ メーター下オーディオ操作部裏カバースプリング部の既設ビス (どちらか一方) にフラットケーブルのアースを接続します。
- ⑧ 付属のフェルトテープでフラットケーブルを固定します。  
※ フラットケーブルは折り目をつけたりせず余裕を持って固定してください。

## 勘合用面ファスナーの取付 (助手席側小物入れ装着車の場合)



- ① ビス 2 本を緩め、助手席側小物入れのカバーを取り外します。
- ② ①で取り外したカバーに付属のボルト (M4) を仕様して付属の勘合用面ファスナーを取り付けます。
- ③ 純正オーディオブラケットのマジックテープ部分に合わせて小物入れカバーを取り付けます。
- ④ 小物入れのカバーとダッシュボードの隙間を埋めるために、付属のスポンジテープをダッシュボードに貼り付けます。  
(隙間に応じてスポンジテープをカットしてください。)

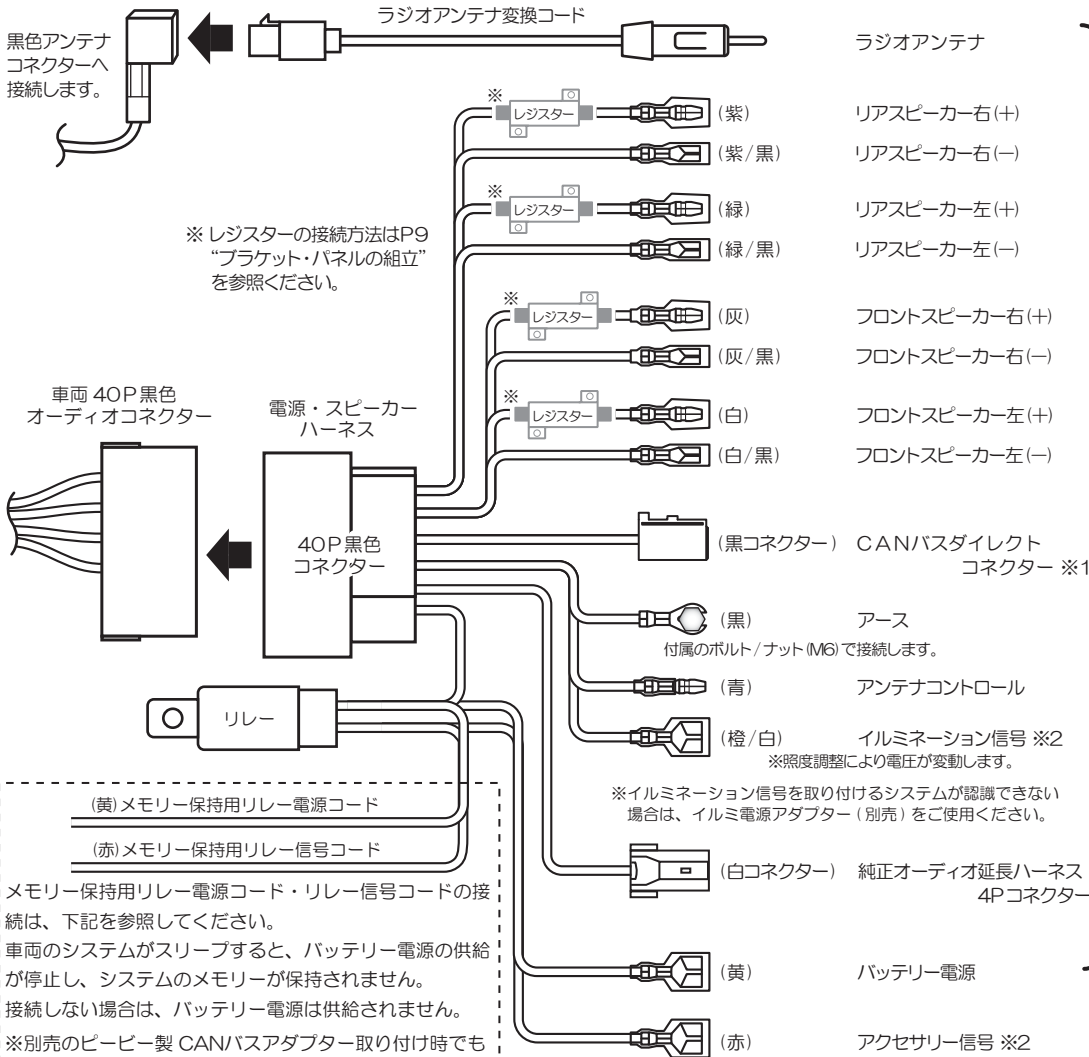
# 車両ハーネスとの接続 その1



**注意**

取り付ける機器の合計消費電流が、車両ハーネスの許容消費電流値を超えないよう、取り付ける機器の仕様をご確認の上、作業を行ってください。

## 電源・スピーカー・アンテナコードの接続



カーオーディオ/  
カーナビゲーション  
システムに接続します。

- ※1 別売のピービー製CANバスアダプターの黒コネクタに接続します。
- ※2 カーオーディオ/カーナビゲーションシステムの各信号の接続には、別売のピービー製CANバスアダプターのご使用をおすすめします。
- ※2 アクセサリ、イルミネーション信号を別売のピービー製CANバスアダプターと接続する場合は、本キットに付属のアクセサリ、イルミネーション信号コードは使用しません。(接続方法はCANバスアダプター取付説明書を参照ください。)
- ※2 アクセサリ、イルミネーション信号出力には、カーオーディオ/カーナビゲーションシステム以外は、接続しないでください。システムの駆動用電源として使用することはできません。

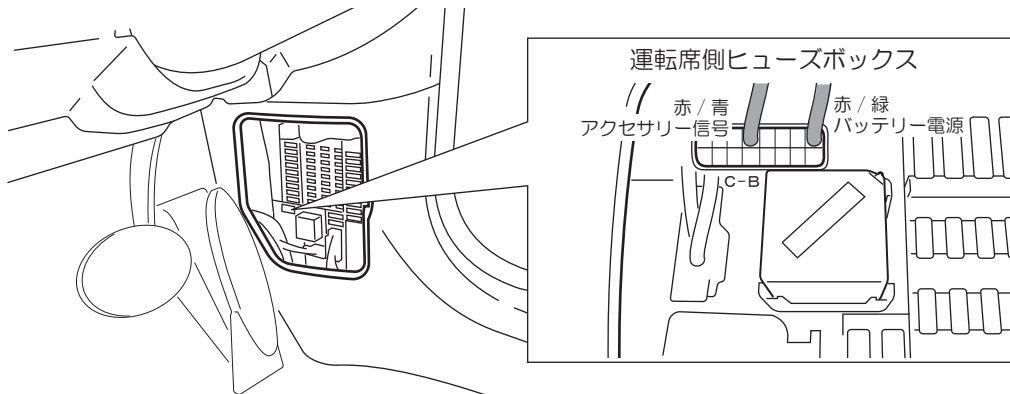
メモリー保持用リレー電源コード・リレー信号コードの接続は、下記を参照してください。

車両のシステムがスリープすると、バッテリー電源の供給が停止し、システムのメモリーが保持されません。

接続しない場合は、バッテリー電源は供給されません。

※別売のピービー製CANバスアダプター取り付け時でも必ず接続してください。

## メモリー保持用リレー電源コード・リレー信号コードの接続



### 【メモリー保持用リレー電源コード(黄)】

運転席ヒューズボックス内 C-B 黒色 18P コネクタ No.1 赤/緑 に付属のショートコネクタ(赤)で接続してください。

### 【メモリー保持用リレー信号コード(赤)】

運転席ヒューズボックス内 C-B 黒色 18P コネクタ No.5 赤/青 に付属のショートコネクタ(赤)で接続してください。

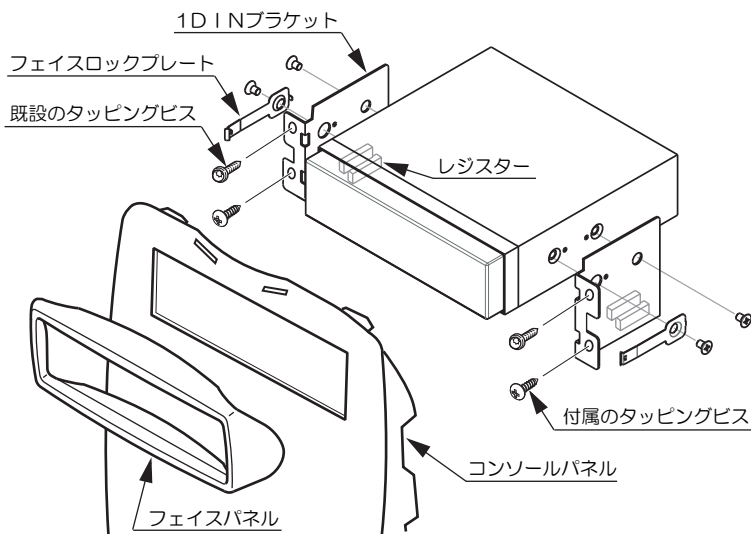
# 車両ハーネスとの接続 その2



## 注意

取り付ける機器の合計消費電流が、車両ハーネスの許容消費電流値を超えないよう、取り付ける機器の仕様をご確認の上、作業を行ってください。

### ブラケット・パネルの組立



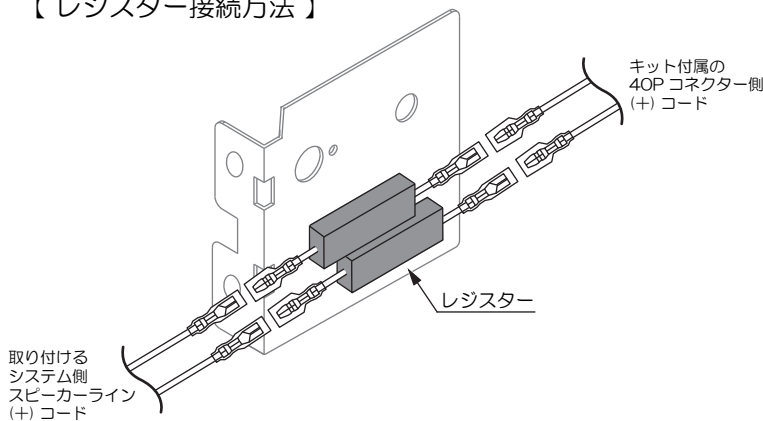
① 取り付けるシステムに付属のM5皿ビスを使用し1DINブラケットとフェイスロックプレートをシステムに固定します。

※ 固定にはトヨタ車用のネジ穴を使用します。

② システムを車両に取り付け時、付属のタッピングビスを1DINブラケット下段に取り付けます。

③ システムを車両に装着後コンソールパネルを車両に取り付け、フェイスパネル裏側の溝2ヶ所にフェイスロックプレートの先端フック部を差し込み固定します。

### 【レジスター接続方法】



レジスターは1DINブラケットにリベットで固定されています。

各スピーカーハーネスの(+)側にレジスターの同色コードを直列に接続してください。

※ 図は左側1DINブラケットです。右側も同様に作業を行ってください。

### 車速信号コードの接続

※車速信号の取り出しには、別売のピービー製CANバスアダプターをご使用ください。

### リバース信号コードの接続

※リバース信号の取り出しには、別売のピービー製CANバスアダプターをご使用ください。